

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域ぐるみの健康づくりの推進	政策(項)番号	I
施策名(目)	健康を育てる人づくりの推進	施策(目)番号	①
担当課	保健福祉課	担当課長	谷津 俊幸

## 1. 施策の基本方針

施策目的	<p>・町民みんなが心も体も元気で長生きするために、一人ひとりが健康に関心を持ち、健康づくりの輪を広げることを目指す地域ぐるみの健康づくりの推進を図るため、疾病の予防及び早期発見の見地から各種の健診(検診)を実施し、子どもから高齢者まで自分に合った健康づくりを実践できるようになることを目的とする。</p>
------	---

## 2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境、国・県の動向等)							
	<p>・がんの早期発見・早期治療につなげるため、がん検診の受診率向上に向けた取組みを検討する必要がある。 ・各種健診(検診)については、より受診しやすい日程の設定を求める声がある。</p>	<p>・高齢化の急速な進展に伴い、介護の認定申請が年々増えるなど、介護を必要とする高齢者の増向が見られる。 ・生活様式の多様化により、不適切な食生活や運動不足、ストレスなどを要因として生活習慣病が増加しており、全死因に占める割合も年々高くなっている。 ・予防接種は、任意接種から定期接種へと移行している。 ・がん検診については、大腸がん・乳がん・子宮がん検診に国から補助金が交付されている一方で、無料クーポン事業が縮小されている。</p>							

  

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	麻しん風しん1期の予防接種率(%)	目標			95%	100%	100%		
		実績	78%	108%	89%			100%	
		達成率			93%				
参考①	各種がん検診受診者数(人)	目標			8,709人	8,841人	8,841人		
		実績	7,064人	8,072人	7,624人			8,841人	
		達成率			88%				
参考②	成人の健診・肝炎ウイルス検診・後期高齢者健診受診率(%)	目標			70%	70%	70%		
		実績	49%	34%	43%			70%	
		達成率			61%				
参考③	人間ドック受診率(%)	目標			20%	25%	25%		
		実績	17%	18%	22%			25%	
		達成率			111%				
参考④	健康教育・健康相談事業参加実人数(人)	目標			200人	500人	500人		
		実績	144人	455人	376人			500人	
		達成率			188%				

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		93,952千円	88,943千円	106,788千円	85,470千円	113,934千円	111,817千円
財源内訳	国庫支出金	1,270千円	1,035千円	1,035千円	1,092千円	2,731千円	2,731千円
	県支出金	7,418千円	3,739千円	1,489千円	1,676千円	2,104千円	1,704千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	10,853千円	13,684千円	15,351千円	13,371千円	14,835千円	14,835千円
	一般財源	74,411千円	70,485千円	88,913千円	69,331千円	94,264千円	92,547千円
従事者数	正職員	2.65人/年	3.10人/年	3.15人/年	3.15人/年	3.00人/年	3.00人/年
	臨時職員	0.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年
人件費	正職員	17,843千円	21,139千円	21,386千円	21,386千円	20,368千円	20,368千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		2,297千円	2,900千円	2,864千円	2,864千円	2,728千円	2,728千円
トータルコスト		114,092千円	112,982千円	131,038千円	109,720千円	137,030千円	134,913千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・予防接種率及び各種がん検診受診者数は、前年度実績より下降したものの、各種健診と人間ドックの受診率は、前年度実績から向上している。また、健康教育・健康相談事業への参加者数は減少したものの目標を上回っており、全体として成果は高くなっている。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・健診(検診)については、ターゲットを絞った啓発や早朝・夜間・休日の健診実施など、受診者の利便性を考慮した日程・会場の設定などにより今後成果を向上させる余地はある。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・予防接種と各種健診(検診)等の実施は、疾病の予防と早期発見・重症化防止にとって重要であり、各種健診(検診)等を受診することにより、町民の方々の健康づくりに対する意識の高揚が図られる。また、地域で開催する健康教育・健康相談への参加は、町民の生活習慣病の予防・改善につながっており、上位政策への貢献度は非常に高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種健診(検診)の受診率向上のため、受診しやすい日程・会場の設定や無料検診枠の拡大による自己負担の軽減などに引き続き取り組みながら一層の普及啓発に努めるとともに、受診しない理由を把握してこれに的確に対応するための方策を検討する必要がある。</li> <li>・健康教育・健康相談事業については、生活習慣病の現状を踏まえ、町民の方々のニーズに合ったテーマを設定するとともに、地域内での広がりや考慮した普及啓発策を検討していく必要がある。</li> </ul>
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・各種事業の実施に当たり、その体制や実施形態を検討するなど、より成果が上がるよう各種事業の見直しを進めながら継続して取り組んでいく。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。